

オー エム ズィ ケー
OMZK

OMZKとは

大淀川水辺の楽校に在来植生を回復させる会
 O M Z K

基本情報

- 団体名**
 OMZK
 (大淀川水辺の楽校に在来植生を回復させる会)
- 事務局**
 宮崎昆虫同好会 日高謙次
- 設立**
 平成 26 年 9 月 1 日
- 組織**
 - ・宮崎大学農学部
 - ・宮崎河川国道事務所
 - ・宮崎市公園緑地課
 - ・大淀川学習館
 - ・宮崎昆虫同好会

沿革

2012 年春～2014 年春、国絶滅危惧Ⅰ類・県絶滅危惧Ⅱ類に指定されている希少な蝶シルビアシジミの調査を、小丸川と大淀川の河川敷において、宮崎河川国道事務所と宮崎昆虫同好会が共同調査を行った。その結果、大淀川本流の河川敷では本種が減少していることが明らかになった。

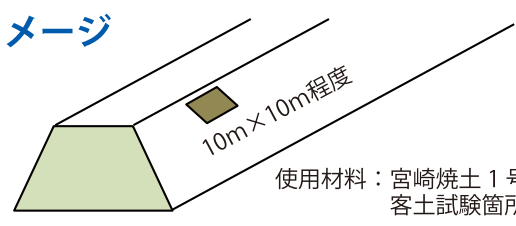
そこで、シルビアシジミを含む大淀川の自然な生態系を大淀川「水辺の楽校」に回復するために、宮崎大学農学部、大淀川学習館、宮崎市公園緑地課、宮崎河川国道事務所と宮崎昆虫同好会からなる「大淀川水辺の楽校に在来植生を回復する会（OMZK）」を 2014 年 9 月に立ち上げた。

現在は、除草時期の変更により、ジョンソングラスなどの外来植物が繁茂する環境から、チガヤのなかにシルビアシジミの幼虫の食草であるミヤコグサが生えるような環境の回復に取り組んでいる。

活動内容

●客土薪き

イメージ



使用材料：宮崎焼土 1 号 50 袋
 客土試験箇所を囲う木杭・トラロープ

●年、数回のミヤコグサ、シルビアシジミの調査を行い、情報交換会を大淀川学習館で開催している。

夢

大淀川「水辺の楽校」の環境を、大淀川河川敷に昔から生息する植物やシルビアシジミを含めた多くの生き物が見られるようにすることで、子どもたちへの自然観察の場所にしたい。



ミヤコグサで吸蜜するシルビアシジミ

活動の様子

